

3月25日月曜日17時より、藍野病院5階多目的室にて、茨木市の主任ケアマネージャー会主催の第2回見える事例検討会が開かれ、地域のケースを、ケアマネージャーと病院内のスタッフが協同してディスカッションしアクションプランを作りました。

この会は、「質の高いケアマネジメントの提供を促すインセンティブである特定事業所加算の中の、定期的な会議の開催、困難事例への対応などの要件」にも対応しており、地域のケアスタッフに病院側が場所とスタッフを提供する形で協力しています。

逆に病院内での退院困難ケースについては、退院支援版見える事例検討会を不定期に病院主催で開催していて、これには地域のケアマネージャーが参加していただいており、垣根を越えたディスカッションが構築されて来ています。

更に茨木市医師会が導入したICTメディカルケアステーション(MCS)で地域、院内を越えたシームレスの連携を試みており、最終的には、当事者や家族が安心して過ごせる地域を目指しています。

老年心身医療センター 園田 薫

